

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101797		
法人名	原口商事 株式会社		
事業所名	グループホーム 暖	ユニット名	ぼたん
所在地	〒310-0914 茨城県水戸市小吹町267-87		
自己評価作成日	平成21年12月25日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年2月2日	評価確定日	平成22年6月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

暖かい介護

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は地域に根ざした活動を通じて地域貢献と利用者への手厚い支援を行っており、家族等から感謝の声が聞かれた。</p> <p>管理者は職員の気持ちを汲んで働きやすい環境づくりに努め、職員の勤労意欲を高めている。</p> <p>利用者へのケアを重視するために食事作りは外注とし、利用者は職員と一緒にご飯と味噌汁を作っている。</p> <p>職員の細やかな声かけにより、利用開始時おむつだった利用者が紙パンツからリハビリパンツ、布パンツへと改善するなど、排泄支援の効果が表れている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしいさご家族との連携地域社会との交流を目指す基本理念をかかげ朝の申し送りの時にスタッフ全員で復唱することで共有し利用者様一人一人が安心して生活できるよう努めている	「ご家族様との連携を保ちながら地域社会との交流を目指します」を理念の一部に掲げ、全職員が共有し実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	餅つき大会や地域の祭りの参加クリーン作戦など地域の一員と交流を行っている	事業所主催の餅つきに地域の人々を招待したり、地域の祭りや地区の清掃活動に利用者と職員と一緒に参加している。 利用者は近隣住民から農作業の手ほどきを受けて一緒に野菜を作っている。 地域の人々から作物のお裾分けがある。 利用者は顔馴染みになった地域の人々と散歩時に挨拶を交わし交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	常時見学体験を受け入れているその際相談説明を行っている			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回推進会議を行なっている市の介護保健課の方民生委員利用者様ご家族等に参加して頂きサービス向上に活かしています	運営推進会議は利用者や家族等の代表、市職員、民生委員、管理者、職員で2ヶ月に1回開催するとともに出た意見等を話し合い運営に反映させている。	運営推進会議で活発な意見交換ができるよう、地域包括支援センター職員や地区の消防団員、近隣住民に参加を働きかけることを期待する。 次回会議の議題を前もって知らせるなど、多くの意見を出してもらえよう工夫することを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	推進会議や書類上不明な所が生じた場合はすぐ介護保健課の担当者に相談している	市担当者や地域包括支援センターと連絡を取り合い運営上の相談をしているほか、生活保護の利用者の相談などで連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設長両ユニット主任スタッフ合わせ随時勉強会を行っている	マニュアルを作成するとともに全職員が研修を実施し身体拘束をしないケアについて理解している。 普段は玄関を施錠していないが、職員が手薄の時は徘徊のある利用者の危険防止のために、家族等に相談したうえで一時的に施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に虐待がないよう努め又スタッフ主任施設長と勉強会を行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員が研修へ行き施設内で発表してもらい知識を共有するよう努め活用している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所の申し込み時や契約時に十分の説明を行い理解同意を得られるよう図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者一人一人に不満がないか尋ねている玄関入り口に意見箱設置している重要事項への記録相談窓口紹介のポスター設置	職員は利用者に声をかけ意見等を聴いているほか、家族等の来訪時に要望や意見等を聴き、出た意見等を運営に反映させている。 玄関に意見箱を設置しているが、投函の実績はない。	無記名のアンケートを実施し家族等からの率直な意見を汲みあげるとともに、出た意見等を運営に反映させるよう取り組むほか、結果を家族等に報告することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員スタッフが意見や提案を言える環境をつくり意見や提案が出た際には会議を開き共に検討し取り組んでいる	運営者や管理者は職員会議などを開催し職員の意見を聞く機会を設けるとともに、出た意見等を運営に反映させ記録を作成している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個人個人の能力を認め職場環境条件の整備に積極的に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に研修への参加指示をし職員育成に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会に入会しておりた施設との相互訪問活動をしながら質の向上を目指している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様と積極的に交流を図り訴えが言いやすい環境をつくり又関係づくり努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時にご家族の訴えを良く聞き入れ相談しやすい雰囲気作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス計画を立てる前に本人とご家族にケアカンファに参加して頂いている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩であることを忘れないと同時に家族の一員としての関係を築けるよう努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に連携を保ち日常生活や本人の健康を共に支援できるよう努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や馴染みの場所への連絡調整を行い外出しているご家族や人々に面会して頂けるよう支援している	利用者の馴染みの理容師が来訪し、整髪後に利用者に入浴を促してくれている。 利用者は友人や家族等へ手紙を書いている。 職員は電話の取次ぎをするなどで利用者の馴染みの人との関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を常に全職員が把握し見守り交流機械をつくりお互い支えあえる家庭的な支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されでも常に電話相談がある時は支援できるよう努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の生活のリズムに合わせるよう努めている	職員は利用者に話しかけ思いや意向の把握に努めている。 意思の表現が難しい利用者は家族等の協力を得てコミュニケーションを図るとともに、職員で話し合い思いや意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から今までの生活歴教えて頂き掛かり付けの医師との連携をとりながら把握できるよう努めている	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々行動や様子を個人記録し職員が情報を共有できるよう努めている			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の思いを優先にしご家族担当医の意見を取り入れケアカンファを行い職員一丸となって介護計画を作成している			ユニットごとの計画作成担当者が利用者の様子を職員から確認したうえでモニタリングを行い、アセスメントして必要な関係者を交えて会議を開催し、短期は6ヶ月、長期は1年の期間を定めて現状に即した介護計画書を作成している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人一人のケアプランに沿って実践を細かく記録している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問看護と医療連携体制を取り医療面に関する相談に24時間対応できる体制となっている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの受け入れや民生委員より地域の情報を得ている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保するとともにかかりつけ医継続して医療を受けられるよう援助している	利用前からのかかりつけ医への受診を職員が付き添い支援をしている。 協力医療機関をかかりつけ医としている利用者は月1回往診を受けている。 事業所は24時間体制で訪問看護ステーションと連携を図るとともに、利用者が週1回看護師の健康チェックを受けられるよう支援し、受診の必要がある場合は協力医療機関と連携し適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護を取り入れ健康管理を徹底している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関との連携が図れるよう定期的に受診したりなどして関係を築けるようつとめている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期ケア、ターミナルケアを全体会議して議代にして職員間で意識を共有できよう努め又ご家族との話し合いを行っている	利用開始時に重度化や終末期に向けた対応指針を利用者や家族等に説明するとともに、看取り介護の同意書を取り交わしている。 全職員は重度化や終末期に向けた事業所の対応指針を把握するとともに研修を受講している。 看取り介護マニュアルに基づき2件のターミナルケアを経験している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急などの研修へ随時参加し職員同士で共有できるよう努めている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回防災訓練を行っている夜間に対応した訓練も行いスタッフが対応できるよう努めている	年2回避難訓練を実施するとともに食糧を備蓄している。 夜間を想定したり火災発生場所を想定した避難訓練を実施するとともに、訓練の手順書を作成しマニュアルにそって実施しているが、地域住民の協力を得るまでには至っていない。	地域住民の協力を得た避難訓練が実施できるよう働きかけることを期待する。 災害時に備え必要な備蓄品のチェック表を作成することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	十分に注意を払い対応している	職員はトイレ誘導時には目立たないようさりげなく声をかけ、利用者のプライバシーを損ねない対応をしている。 職員は利用者からの質問に対して丁寧に答えるなど、一人ひとりの人格を尊重した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意思にそうよう希望や決定を支援できるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念でもあるその人らしさを一日一日大切にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みの服や色格好を普段の会話などから聞き出し取り入れ最終的に本人に良いか悪いか判断して頂くよう支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に出来ることをして頂きながら準備片付けを一緒に行っている	利用者へのケアに力を入れたいとの思いから、調理は専門の業者が作った食事を提供しているが、ご飯と味噌汁は職員と手伝いのできる利用者で作っている。 できる利用者には下膳を手伝ってもらっている。 利用者の誕生日には外食を楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人のペースに合わせ時間にとられず摂取していただけるよう支援介助を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後洗面所にて口腔ケアを行なっている自分で出来ない方は職員にて介助しながら行なっている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎日排泄の記録をとりパターンを把握できるよう努めている	職員は利用者ごとに排泄チェック表を作成し、一人ひとりのパターンに合わせてトイレで排泄できるよう支援している。 利用開始時におむつを使用していた利用者がリハビリパンツや布パンツ使用に改善するなど、職員は排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	訪問看護と協力し個人個人に応じた予報又食事の摂取など工夫している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は希望すれば毎日に入れるよう準備している時間帯も本人の好きな時間に入浴できるよう努めている	週3回午後からの入浴を支援している。 入浴を拒否する利用者には清拭や足浴を実施したり、午前の入浴や決まった日以外の入浴も支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	疲れている時や夜向眠れなかった時はその日の状況によって休憩又は入眠できるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	担当医や訪問看護と連携をとり服薬上の注意や用法を随時確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人その人に合わせたレクリエーションや個別ケアを随時行い楽しみを増やせるよう努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来るだけ本人の希望に沿って花見や地域のイベントへの参加を支援している	利用者は天気の良い日は近くの神社など事業所周辺を散歩しているが、寒い日は事業所内を散歩している。 歩行が困難な利用者は車椅子を使用して職員や元気な利用者に押してもらって散歩をしている。 職員は利用者が日用品や本などを買いに出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近所のおかしランドとゆうお店などへ買い物へ行き少ない金額ですが思い思いの買い物を出来るよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればいつでも電話して頂ける環境を心かけている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季の季節感を取り入れ混乱しないようさりげない空間を作り出す努めている	水遣りをしている観葉植物が事業所のいたる所に配置されている。 居間の一角に畳コーナーを設け、炬燵を設置したり利用者が洗濯物をたたむ時などに利用している。 トイレや浴室はバリアフリーで車椅子対応になっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	中央フロアや廊下のソファなど1人でもくつろげるような空間を用意している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく普段使っていた物を持ってきて頂き使いなれた空間を作れるよう努めている	居室にはベッドや洗面台、クローゼット、エアコンが備え付けられているほか、利用者は仏壇や箆笥、テレビ、観葉植物などの物品を持ち込み、居心地良く暮らせるよう工夫している。 季節毎の衣服類整理時には家族等が訪れている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	認識できるようなポスターなど作り分かりやすくしている又分からなくなってしまう時は傾聴し誘導助言できるように努めている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム 暖

作成日 平成22年6月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議時の地域住民との交流	近隣住民との交流	地域の子供たちを呼びかけてイベント他を行なう。	適時
2	10	ご家族の意見及び要望	家族の方からの率直な意見を聞いて運営に反映させたい。	無記名などで意見を伺う	適時
3	26	筆記用具の選択	書類に依って筆記用具を選択する。	職員への周知徹底を行なう	早急に行
4	35	災害対策時の地域住民の参加	地域住民の参加	日頃の地域との交流	適時
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。